



11月18日、ニットベーススポーツ・ルネサンス福島のスタジオで練習に参加していた皆さん。福島復興PR隊のユニホーム「復興Tシャツ」を着ています

仲間とともに  
その8

いいたて愛

ヨサコイ踊りの  
チームです

胸がすくような、はつらつとしたヨサコイを踊る「いいたて愛」。村商工会女性部を中心に発足し、平成22年には10周年を迎えていました。避難の年から練習を再開し、その後も5人が加入。草野悠紀さん（草野）は「会える機会が増えるかと思つて」と参加のきっかけを話します。現在は19人で活動中です。

「皆で楽しくが一番。来年はオリジナル曲を作つて大会に臨みたいです」と話すのは中川ひろみ代表（宮内）。避難先での活動は苦勞の連続なのに、ステージ同様、パワフルです。

活動データ

- 時** 毎週水曜日と第3月曜日  
午後7時～
- 所** 県青少年会館体育館  
第3月曜日のみニットベーススポーツ・ルネサンス福島
- 料** 月1,000円
- 今年は長野県・秋田県・群馬県他のステージにも賛助出演しています

ともひと  
三笠宮家 寛仁親王妃信子さまのご訪問

11/1



住民が贈ったお手玉を手にする信子さま

三笠宮家の寛仁親王妃信子さまが、村民が暮らす伊達東応急仮設住宅をご訪問になりました。信子さまは、同仮設住宅の集会所で、村長や住民約20人と対面して励まされ、住民の用意した大福や漬物をお召し上がりになりました。

信子さまは、ぜんそくなどのため約10年間療養

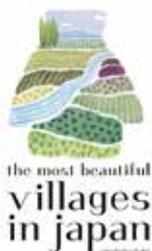


見送る村民の手を取り声をかけられました

をされており、7年10か月の公務復帰となる訪問先に、療養にも訪れていた縁から伊達市を選ばれたということでした。

信子さまを、列を作つて見送つた住民の皆さんは、「気さくでも優しい方でした」「みんな喜んでいたね」などと笑顔で話し、ご訪問を振り返っていました。

**表紙** 草野・飯桶幼稚園「はっぴようかい」3歳児によるロシア民話「てぶくろ」の劇。かわいくマの登場です。P13の記事もご覧ください。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。